

令和元年度 多摩川河口の野鳥観察会 第1回

日時：2019年10月27日（日）9：00～12：00

場所：川崎市環境総合研究所 大会議室（川崎市川崎区殿町3-25-13）
多摩川河川敷

対象：小学生以上

参加者：30名（子供9名、大人21名）

講師：江良 弘光氏（サイエンティフィックイラストレータ）
小林 範和氏（鶴見川流域ネットワークキング）

スケジュール：

時間	内容
8：45	受付開始
9：00	開講・あいさつ 講師スタッフ紹介
9：10	講義 ・野鳥観察の予備知識
9：30	観察場所へ移動 観察会 ・双眼鏡の使い方 ・2班に分かれての野鳥観察
11：25	大会議室にもどり、本日のまとめ アンケート記入
11：50	閉会あいさつ
12：00	解散

内容：

●準備

参加者の服装・装備（〇は貸出あり）

双眼鏡〇、防寒着、動きやすい服、スニーカーなど歩きやすい靴

●講義

講師から干潟の干満のメカニズム、生態系の特徴、干潟に暮らす生きもの、干潟の水質浄化の仕組みなどについてパワーポイントを用いて干潟についての講義が行われ、次に多摩川河口でよく見られる野鳥の特徴について紹介があった。

●観察

観察の前に双眼鏡の使い方を学び、2班（大人だけの組・子供連れの組）に分かれて野鳥観察を行った。それぞれの班に講師・スタッフが付いて案内・解説を適宜行いながら、野鳥観察を行った。その後、研究所に戻り、観察できた鳥について講師からまとめの話があった。

今回観察した生きもの

全27種類

カモの仲間 6種類（カルガモ、オカヨシガモ、スズガモ、マガモ、ハシビロガモ、ヒドリガモ）

カイツブリの仲間 1種類（カイツブリ）

ウの仲間 1種類（カワウ）

サギの仲間 3種類（アオサギ、ダイサギ、コサギ）

カモメの仲間 3種類（ユリカモメ、オオセグロカモメ、セグロカモメ）

タカの仲間 1種類（トビ）

スズメの仲間 10種類（スズメ、ハクセキレイ、モズ、アオジ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、シジュウカラ、ムクドリ、ヒヨドリ、メジロ）

その他 2種類（オオバン、キジバト）



カルガモ



コサギ



アオサギ



<参加者の感想> (一部抜粋)

- ・鳥の種類がよくわかったけど、難しかった。またやりたい。(子ども)
- ・きれいな鳥がいっぱいて面白かったです。いろいろな鳥を見てとても楽しかったです。魚を食べ姿まで見れて嬉しかったです。(子ども)
- ・野鳥の解説も何うことができ、勉強になりました。大人も子供も楽しめる内容でした。(大人)
- ・比較的鳥の少ないタイミングだったとは思いますが、流域を長めに歩くことで、様々な鳥が見られたことは良かったです。(大人)
- ・講師や案内の皆さんが親切で知識も豊富で初めての野鳥観察でしたが、楽しく親子で参加できました。自分たちでは、何の鳥か判別できないと思いました。(大人)